

京都市における 再犯防止の取組について



令和7年11月5日（水）

近畿ブロック協議会資料

（京都市保健福祉局福祉のまちづくり推進室）

「京都市再犯防止推進計画」

平成28年12月に再犯の防止等の推進に関する法律が施行となり、市町村における再犯防止推進計画の策定についても明記されたことをうけ、本市では、令和3年3月に「京都市再犯防止推進計画」を策定しました。

住居・就労の確保に向けた支援や保健医療・福祉サービスの利用に向けた支援など、地方自治体等が実施している施策にしっかりとつなげ、再犯に陥る負のサイクルを断ち切るとともに、罪を償い社会の一員として再出発しようとする人を認め、支える地域社会づくりに向けて、国や民間団体等と連携しながら再犯防止の取組を総合的かつ計画的に推進しています。

「京都市再犯防止推進計画」の重点推進施策



以下 5 施策に重点的に取り組んでいます。

- ①刑事司法関係機関等との連携による切れ目のない支援の推進
- ②ハンドブック「つなぐ つながる」を活用した相談・支援機関につながりやすい環境整備
- ③民間団体への支援を通じた生きづらさを抱える若年者の居場所づくりの推進
- ④再犯防止・更生支援に関する理解促進に向けた市民・事業者等への啓発
- ⑤京都の文化力をいかした矯正施設入所者等に対する更生意欲等の喚起

* 刑事司法関係機関：主に、検察庁・矯正施設・保護観察所のこと

重点推進施策①

刑事司法関係機関等との連携による切れ目のない支援の推進

刑務所出所者等に対する住居の確保や介護、医療などの福祉的支援については、刑事司法関係機関等（刑務所、保護観察所、地域生活定着支援センター等）において、犯罪等した人のニーズを施設在所中から把握し、地域の福祉関係機関等と連携しながら、必要な支援につなぐ調整が行われています。

本市が提供する福祉的支援につなぐ調整をより円滑化し、切れ目のない支援を推進するため、本市として、更生支援相談員（1名）を令和3年4月から配置し、取組を推進しています。

重点推進施策①

刑事司法関係機関等との連携による切れ目のない支援の推進

更生支援相談員の業務

- ①刑事司法関係機関等が適切な福祉関係機関等に迅速・円滑に相談・調整が行えるようサポートを行います。
- ②刑事司法関係機関等と連携した研修会の開催等を通じて、地域の福祉関係機関のスキルアップと、刑事司法関係機関等と福祉関係機関等の顔の見える関係づくりを推進するとともに、対応事例等の支援ノウハウの集積と市内における出所者支援の動向把握を行い、関係機関へフィードバックすることで、対応力の向上につなげます。
- ③市民・事業者に向けた再犯防止・更生支援に関する情報発信や、市内において出所者等を積極的に支援する福祉事業者等の拡充に向けた働き掛けを行います。

重点推進施策②

ハンドブック「つなぐ つながる」を活用した相談
支援機関につながりやすい環境整備



つなぐ つながる

～新たなスタートをする方への応援ハンドブック～

犯罪等をした人は、社会的に孤立しやすい傾向にあり、福祉的支援が必要であっても、相談機関等につながりにくい傾向があります。このため、犯罪等をした人が出所後に困難や悩みを抱えた際に相談できる窓口や支援機関を紹介したハンドブック「つなぐ つながる」を作成し、矯正施設や保護観察の現場等で当事者や支援者に配布しています。

京都市情報館においてハンドブック電子版を掲載しています。



重点推進施策③

民間団体への支援を通じた生きづらさを抱える若年者の居場所づくりの推進

地域再犯防止推進モデル事業として、民間団体と連携して、生きづらさを抱える若年女性に対する居場所づくりや寄り添い支援に取り組んできましたが、継続した取組が効果的であることから、民間団体により若年者を対象とした再犯防止に資する居場所づくり等を促進するため、**「京都市生きづらさを抱える若年者の居場所づくり等支援事業補助金」**を令和3年6月に創設しました。

居場所づくり事業、寄り添い事業、先進的な支援事業の3つの事業を補助対象としています。

重点推進施策③

民間団体への支援を通じた生きづらさを抱える若年者の居場所づくりの推進～取組状況～

「京都市犯罪や非行をしたことにより生きづらさを抱える者の居場所づくり等支援事業補助金」

令和6年度 補助交付団体

- 助成団体① 一般社団法人 京都わかくさねっと
- 助成団体② NPO法人コミュニティ・スペースsacula
- 助成団体③ 鬼あげ子ども食堂
- 助成団体④ バザールカフェプロジェクト
- 助成団体⑤ NPO法人東九条まちづくりサポートセンター

重点推進施策④

再犯防止・更生支援に関する理解促進に向けた市民・事業者等への啓発

再犯防止や更生支援に関する市民理解の促進は、民間支援者の増加や活動の充実につながり、同時に更生を目指す人の人権が尊重されることは、刑務所出所者等の更生意欲の向上につながります。また、企業や福祉関係機関等における理解の促進は、犯罪等をした人を雇用通じて支援する協力雇用主や犯罪等をした人の入居を拒まない民間賃貸住宅の拡大、必要な福祉サービスの円滑な提供等につながります。このため、本市職員はもとより、市民向け、企業向け、福祉関係者向けに再犯防止・更生支援に関する啓発・研修に取り組んでいます。

重点推進施策④

市民しんぶん（令和3年7月）において再犯防止に関する特集記事を掲載

やり直せる社会の実現に向けて 7月は再犯防止啓発月間です！

住む場所がない
仕事がない
偏見による社会での孤立
家族にも及ぶ非難の日

「二度と繰り返さない」という決意を
阻むいくつもの壁

皆さんの理解や支えが必要です

壁を乗り越え
やり直せる社会にするために
そして
新たな被害者を生み出さないために

再犯の現状

再犯者数及び再犯率
(市内警察署で検挙された再犯者数)

年	再犯者数	再犯率
2014	2,225	45.3%
2015	2,044	46.0%
2016	2,044	46.0%
2017	2,044	46.0%
2018	2,044	46.0%
2019	2,044	46.0%
2020	1,152	53.0%

再犯者数 2020年(令和2年) 1,152人
再犯率 2020年(令和2年) 53.0%

再犯者数 2014年(平成26年) 2,225人
再犯率 2014年(平成26年) 45.3%

再犯者数 2015年(平成27年) 2,044人
再犯率 2015年(平成27年) 46.0%

再犯者数 2016年(平成28年) 2,044人
再犯率 2016年(平成28年) 46.0%

再犯者数 2017年(平成29年) 2,044人
再犯率 2017年(平成29年) 46.0%

再犯者数 2018年(平成30年) 2,044人
再犯率 2018年(平成30年) 46.0%

再犯者数 2019年(令和元年) 2,044人
再犯率 2019年(令和元年) 46.0%

再犯者数 2020年(令和2年) 1,152人
再犯率 2020年(令和2年) 53.0%

なぜ犯罪を繰り返すのか

再犯を繰り返す原因は、犯罪のサイクルにあります。

犯罪のサイクル

犯罪のサイクルを断ち切るために、早期支援が必要です。

再犯防止推進計画を策定

再犯防止推進計画を策定し、再犯防止に取り組んでいます。

再犯防止推進計画の策定は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

再犯防止推進計画の策定は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

取り組みの推進

1. 再犯防止推進計画の策定
2. 再犯防止推進計画の実施
3. 再犯防止推進計画のモニタリング
4. 再犯防止推進計画の評価
5. 再犯防止推進計画の改善
6. 再犯防止推進計画の公表

再犯防止推進計画の策定

再犯防止推進計画の策定は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

再犯防止推進計画の策定は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

地域における身近な支援

地域における身近な支援は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

地域における身近な支援は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

犯罪被害者などの支援

犯罪被害者などの支援は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

犯罪被害者などの支援は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

再犯防止推進計画の策定

再犯防止推進計画の策定は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

再犯防止推進計画の策定は、再犯防止に取り組むための重要なステップです。

市民しんぶん
再犯防止特集記事Q R



重点推進施策④

啓発パネル展の開催（令和3年8月・令和5年12月）

再犯の現状や、犯罪を繰り返してしまう要因、京都市再犯防止推進計画の内容などを紹介したパネルを作成し、地下商店街にてパネル展を開催。

令和**5**年**12**月に作成した啓発パネルは京都**BBS**連盟の大学生等に主体となって制作いただきました。

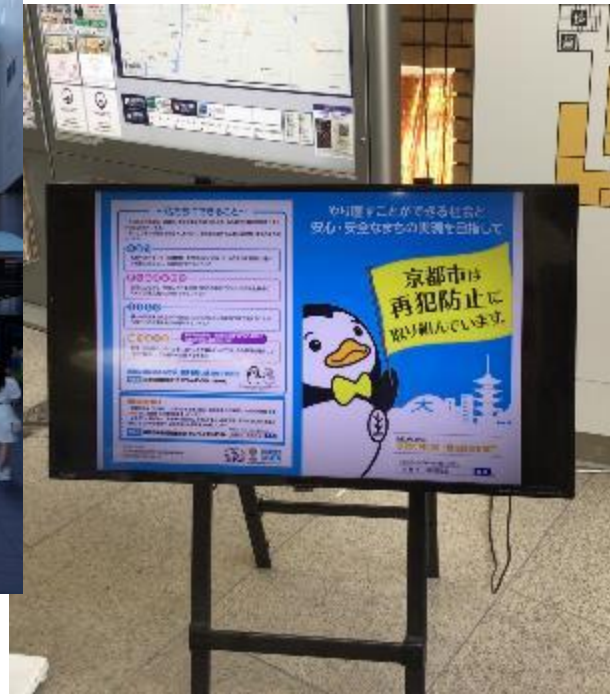
また、同パネルを活用し、市役所本庁舎・区役所及び支所庁舎等でもパネル展示を行っています。



重点推進施策④

イベント等での啓発リーフレットの配布・ デジタルサイネージ等を活用した啓発活動

人権啓発月間イベントや区民まつり等の各種イベント等において再犯防止のリーフレットを配架したり、デジタルサイネージやSNS等を活用し、啓発活動を行っています。



重点推進施策④

市職員向け研修の開催

再犯防止の取組について説明するとともに、それぞれの研修対象等に合わせて研修を開催しています。

- ・ 憲法月間講座（令和5年5月）〔約100名参加〕
更生保護施設・企業とのパネルディスカッション
- ・ 福祉職全体研修（令和5年11月）〔約80名参加〕
（福祉分野に関心のある大学生等にも参加してもらう）
仮想ケースの事例・再犯防止の啓発アイデアについてグループワーク
- ・ 交通局人権月間講座（令和5年12月）〔約30名参加〕
更生保護施設・依存症関連のソーシャルワーカーとのパネルディスカッション
- ・ 令和7年度新採職員研修（令和7年4月）〔約380名参加〕
再犯防止の取組説明のみ
- ・ 上下水道局憲法月間講座（令和7年5月）〔約50名参加〕
更生保護施設の説明及び見学



再犯防止・更生支援に係る啓発冊子「あしたの京都」を発行

罪を償った人が、さまざまな人の支援や協力を得ながら立ち直っていく姿や、更生支援に携わる方のインタビューを通じて、市民等に再犯防止・更生支援の必要性を感じてもらうことを目的として令和5年12月に発行。

<主な内容>

- ・ 罪を償った若者、若者を支援した起業家、若者を雇用した経営者との3者座談会記事
- ・ 保護司・協力雇用主・更生保護施設・居住支援法人・回復支援施設の方々に対するインタビュー記事
- ・ 市内の再犯者数・再犯者率及び再犯が起こる理由や 再犯を防ぐためにできることを掲載

重点推進施策④

みんなでつなぐ更生支援啓発イベントの実施（令和6年12月）

矯正施設等の関係機関や民間協力団体等と連携し、再犯防止や更生支援をテーマとした啓発ブースの出店、刑務所作業製品の展示即売会、性格検査の体験等を実施。



重点推進施策⑤

京都の文化力をいかした矯正施設入所者等に対する更生意欲等の喚起

犯罪等をした人に対しては、国の矯正施設等において特性に応じた指導が行われていますが、帰住先となる本市としても、伝統文化に触れる機会の提供など豊かな人間性を育む京都の文化力をいかして、更生意欲や自己肯定感を高める取組を展開します。



重点推進施策⑤～令和 6 年度取組状況～

○京都少年鑑別所、京都拘置所にて計 3 回実施

※少年鑑別所での体験は公益財団法人京都市ユースサービス協会の御協力を得て実施しました。

●参加者の声

- ・ 完成したときは嬉しさが込み上げてきた
- ・ 本当に良い体験をさせていただいた
- ・ こういった職業もあると気付けた
- ・ 今回の体験と似たような事がまた家でできるのであれば家族とも一緒にしてみたい
- ・ 物づくりの楽しさを知る良い機会になった



「京指物」つくり体験



「染色」体験



「西陣織」しおり作り体験

●職員の声

- ・ 体験を通して少年たちの新たな一面を知る事ができた
- ・ 折り紙も知らないで育った大人たちが参加していましたので、非常に新鮮で喜んでおりました

ご清聴ありがとうございました。

詳細はホームページをご覧ください。

京都市 再犯防止

検索

